



市社保協は8月に、水道料金値上げ中止、就学援助制度拡充、学校給食費無料化、高齢者の介護支援、障がい者のタクシー利用補助、子ども医療費高校まで無料に、保育士市独自の加配を求める、島根原発と避難計画など10項目を要請。その内「国保料を引き下げ・18才未満の均等割免除」「加齢性難聴者への補聴器補助、健診項目への追加」について保険年金課、介護保険課と今回懇談しました。

11月19日松江市社会保障推進協議会（石田忍会長・以下・市社保協）が松江市と社会保障の充実を求めて懇談しました。役員など6名が参加、松江市担当課から6名が参加し応対ました。

国保料引下げ・補聴器購入助成など社会保障の充実を  
松江市社会保障推進協議会が市行政と懇談

## 水道料値上げ反対署名にご協力ください

15日まで

しい」「基金残は12億7千万円」「国保料は基金を1億円取り崩し値上げ幅を抑えたとのことだがもつと基金残高がかなりありますと活用してほしい」「子どもの均等割は440万円、ぜひ無償に」と訴えがありました。

大谷保険年金課長は「子育て世代の支援を国に要望している」と答えました。

検討するとなつてゐることから、高宮介護保険課長から、「県内の補助がひろがり、耳鼻咽喉科医会からも要望がでてゐる。今年度チラシを作成し受診喚起している」と回答があり、参加者は「県内他市はすでに補助している。県庁新三階の公二階ガードル又は

所在地の松江市でせひ取組んでほしい」と訴えました。

は審議会が適當であると諮詢したものの、「繰出基準に基づく経費の補填以外は企業の経営努力で自主運営が行われるべき」と値上げに理解を求める回答がありました。

これを受け市社保協は多くの市民の願いである水道料値上げストップの声を届けようと「水道料金を値上げしないよう求める署名」に取り組んでいます。緊急の取組です。市民の皆さんにぜひ協力の輪を広げてください。

水道料金を値上げしないよう求める署名

コロナ禍以降、米などの食料品をはじめエネルギー価格などの高騰で、家計の苦しい状況が続き、市民の生活は先の見えない状況です。

そんな中で、松江市は水道料金の平均 26.02%もの値上げを検討しています。生活に不可欠な水道の料金値上げは、暮らしの負担に追い打ちをかけ、命にもかかわります。松江市は、市民への負担を上げるのではなく、市民の暮らしこそ応援すべきです。

尾原ダムからの高い水道料金の見直しを県にもとめ受水費の無駄をなくすこと、一般会計から支援することなど、値上げを回避するために市ができることがあります。

以上のことから、次のとおり要望します。

1 松江市の水道料金を値上げしないでください。

(要事項)

松江市社会保障推進協議会

【連絡先】〒690-0065 島根県松江市灘町 116  
松江民主商工会内(伊東) Tel0852-25-3456

松江市長 上定昭仁 様